

蒼炎烈火

作詞・作曲・編曲：氷上亮

銀の光を遮る

空覆う木々の言葉

ふと葉風がゆらゆら

旅人の手をそっと掴む

隠された扉

古代の回廊

常闇深き地の底

それは眠っていた

明眼神威を体現し

その眷属さえも恐慌きたす

蒼炎烈火をその身に宿し

贖い続ける

かつて絢爛を極めた

遺跡は朽ち果てて

灯光漆黒を引き裂き

棺の蓋に手を伸ばした

立ち昇る焰

蒼い光が

全てを呑み込んだ時

それは目覚めた

明眼神威を体現し

その眷属さえも恐慌きたす
蒼炎烈火をその身に宿し
贖い続ける

幾星霜
時は過ぎ
罪過の鎖は千切れ
枷は解かれた

星辰森羅を亡失し
ただ混沌の海揺蕩いながら
蒼炎烈火をその身に宿し
贖い続けた

明眼神威を体現し
その眷属さえも恐慌きたす
蒼炎烈火をその身に宿し
溟海を天穹を
業火まといて征く